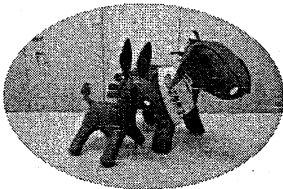


令和7年度 認知症総合支援事業進捗報告



高梁市地域包括支援センター

今年度の重点目標

1. 認知症の人の早期発見と早期支援、医療・介護の連携による切れ目ない支援体制(認知症初期集中支援チーム)の強化
2. 認知症の正しい知識の普及啓発
3. 本人の気持ちや意見を聴くことでニーズ把握でき、本人やその家族が望む生活を継続できる

1. 認知症の人の早期発見と早期支援、 医療・介護の連携による切れ目ない 支援体制(認知症初期集中支援チー ム)の強化

認知症初期集中支援チーム員連絡会議の開催

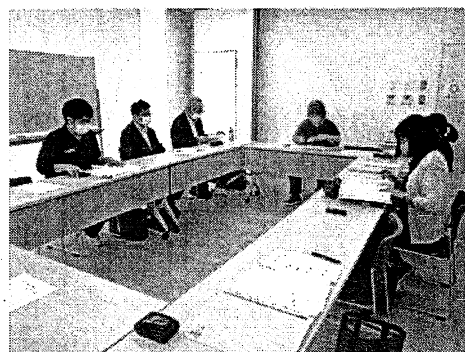
第1回: 5月29日(木)

第2回: 10月30日(木)

参加者: 認知症サポート医3名、
認知症初期集中支援チーム員

内 容: 1. 認知症初期集中支援チームの
現状と課題について
2. 事例検討

第3回: 令和8年1月29日(木)予定

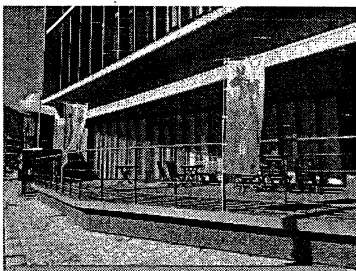


2. 認知症の正しい知識の普及啓発

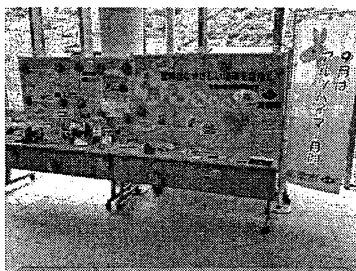
9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

のぼり設置

市役所・各地域局に
のぼりを設置しました



高梁市役所



成羽・川上・
備中ステーション



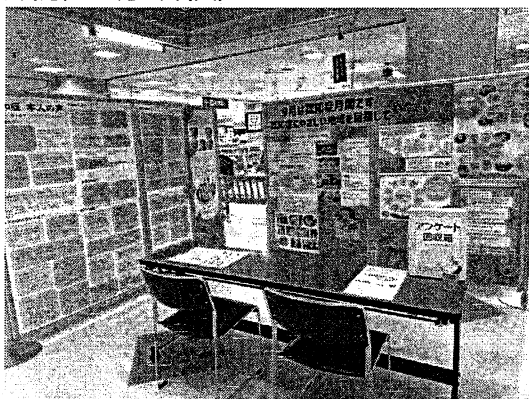
有漢地域局

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示

ゆめタウン高梁

9月1日(月)～9月9日(火)



9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示

ポルカ天満屋ハピータウン

9月10日(水)～9月19日(金)



9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示

高梁市図書館

9月20日(土)～9月30日(火)



来場者数: 25名



9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

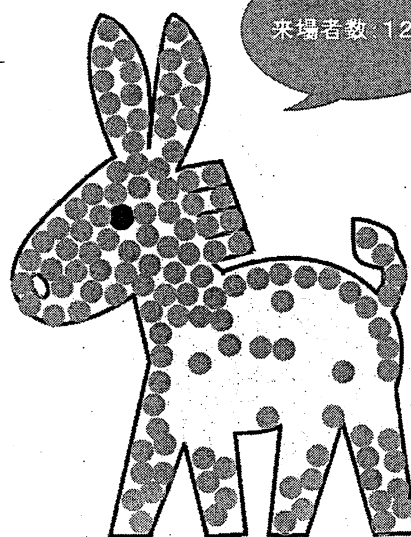
パネル展示

高梁中央病院

9月2日(火)～9月30日(火)



来場者数: 122名

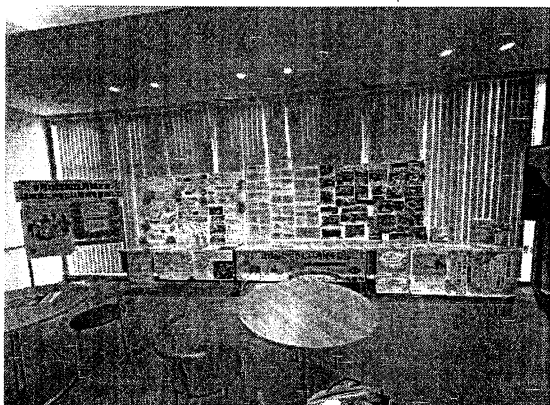


9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示

成羽病院

9月2日(火)～9月30日(火)



9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示

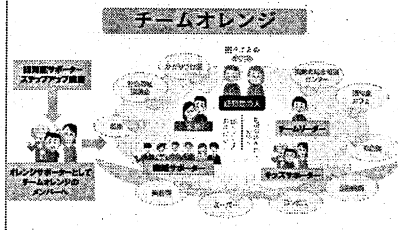
吉備国際大学: 10月1日(水)～10月30日(木)



パネル展示 (チームオレンジの紹介)

チームオレンジって、なに？

近所に住む認知症サポーターやオレンジサポーターなどの支援者がチームを組んで、認知症の人やその家族を見守り・声かけし、ともに活動するグループです。



私たちが取り組んでいること

見守りや声かけ、話し相手などを通じて、孤立しないように手助けしています。
認知症カフェや通いの場へ誘ったり、遠い場へ一緒に活動したりしています。
必要ときには専門職へつないだり、相談窓口を紹介したりしています。



<活動場所>
コミュニティハウス市瀬会館（橋本町市瀬）

<活動内容>
認知症サポーターおよび認知症スタッフアップ講座
認知症かけ付け体験の場
地域の情報交換・共有
認知症の方や家族を見守り・見守ること



<活動場所>
わかみ茶店 橋本コミュニティハウス（川上町橋本）

<活動内容>
認知症の人・家族等の居場所づくり
認知症の人の趣味活動等の支援
認知症の方の見守り、話し相手、生活支援
地域での認知症啓発活動
認知症カフェ、元氣なからたつくり後援支援



<活動場所>
御理美会館（有漢町有漢）

<活動内容>
認知症の人・家族等の居場所づくり
認知症の人の趣味活動等の支援
認知症の方の見守り、話し相手、生活支援
地域での認知症啓発活動



<活動場所>
球根会館（有漢町有漢）

<活動内容>
認知症の方の見守り、話し相手、生活支援

パネル展示 (認知症カフェ紹介)

高梁市 認知症カフェ

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

認知症の方と地域住民が交流し、認知症について学び、認知症の方の生活を支援する場です。

パネル展示 (認知症説明)

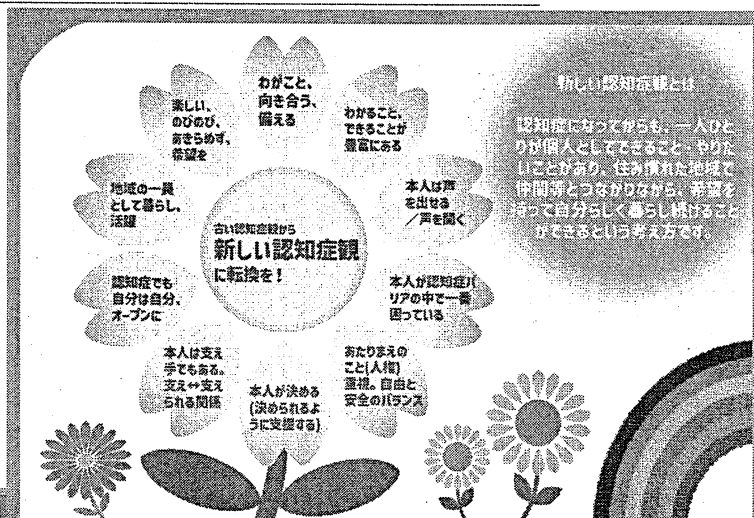
どんな人が認知症になるの？

認知症は誰でもなる可能性があります。
年齢が高くなるにつれ、認知症になる可能性が高くなります。
若くて30代でも認知症になる人もいます。

なぜ9月なの？

9月21日は「世界アルツハイマーデー」。認知症基本法でも「認知症の日」とされています。
この日に合わせて、9月は「認知症月間」として理解を広める取り組みが行われています。

パネル展示 (新しい認知症観)



9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示 (オレンジガーデニングプロジェクト)



- ・認知症施策検討委員会委員
- ・キャラバン・メイト
- ・オレンジサポーター
- ・認知症サポーター
- ・認知症カフェ運営団体
- ・市内グループホーム
- ・市内介護保険事業所
- ・チームオレンジたかはし
- ・地域包括支援センター運営協議会委員

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

パネル展示 (アンケート実施)

パネル展示会場とうちのQRコードでアンケートを実施

アンケート回収数
会場: 38
QRコード: 3



令和7年度9月認知症月間/パネル展示に関するアンケート

この度は、「認知症月間 パネル展示」にご来場いただき、誠にありがとうございます。
今後の参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

※この調査の情報はわかりやすくまとめますか？ (当てはまるものを○)

くともそう思う / そう思う / どちらともいえない / そう思う / 全くそう思わない

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

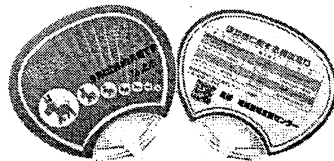
※認知症に関する情報は必要でしたか？ (当てはまるものを○)

くとも必要だった / 必要だった / どちらともいえない / 必要だった / 全く必要なかった

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

街頭啓発活動

オリジナル
ミニうちわを
作成・配布



ゆめタウン高梁
9月2日(火)



ポルカ天満屋ハッピータウン
9月10日(水)



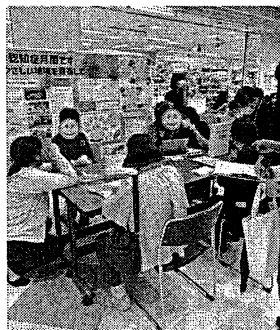
・認知症施策検討委員会委員
・チームオレンジ
・オレンジサポーター
・キャラバンメイト
38名

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

まちかど相談会

ゆめタウン高梁
9月2日(火)13時半～15時半

もの忘れチェック:11名
相談者:2名



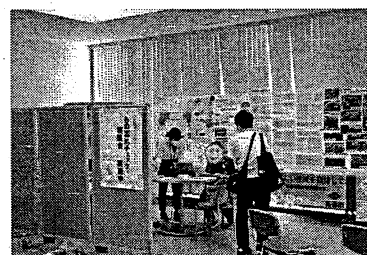
ポルカ天満屋ハッピータウン
9月10日(水)10時～12時

もの忘れチェック:5名
相談者:2名



成羽病院 9月16日(火)
9時半～11時半

もの忘れチェック:5名



マスカット薬局による
もの忘れチェックも実
施しました

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

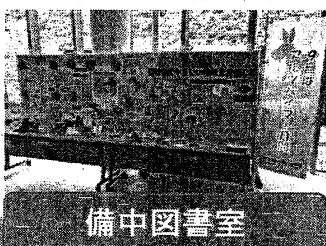
認知症図書フェア



高梁市図書館



成羽図書室



備中図書室



有漢図書室



川上図書室

認知症関連の図書の紹介・展示
を行いました

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

行政放送番組の放送



9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

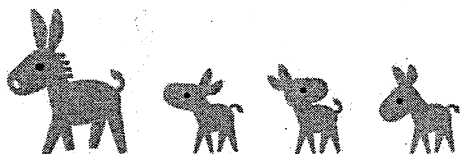
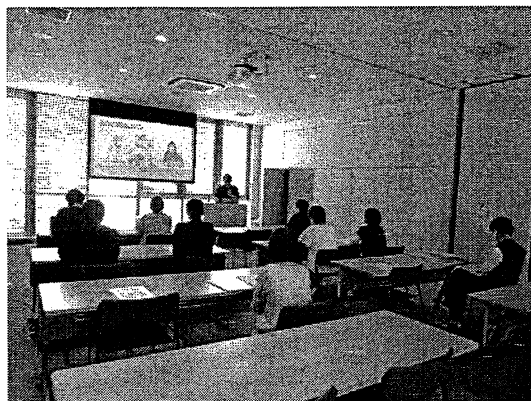


認知症サポーター養成講座(一般市民向け)

日時:9月24日(水)14時~15時30分

場所:高梁市図書館

参加者:9名



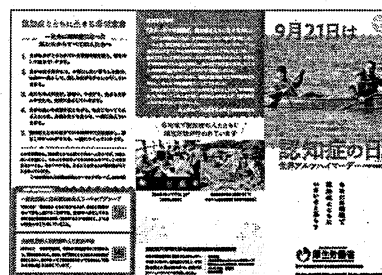
9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

ポスター掲示



- ・商業施設
(ゆめタウン高梁、ポルカ天満屋ハピータウン、
ジュンテンドー、ダイキ、ナフコ、しまむら、
ザグザグ高梁店・落合店、セブンイレブン市内
6店舗)
- ・市内金融機関各店舗
(郵便局、備北信用金庫、中国銀行、トマト銀行、
晴れの国岡山農業協同組合)
- ・大杉病院
- ・川上診療所
- ・ゆうゆう村在宅介護支援センター
- ・ひだまり苑
- ・高梁警察署(交番、駐在所)
- ・高梁市社会福祉協議会
- ・地域局、地域市民センター

リーフレット配布



パネル展示
行いました

マグネットステッカー



9月は認知症月間



認知症サポーター

9月認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動

備中高梁駅サイネージ

9月は認知症月間です

誰もがなり得る認知症
自分事として考え、
正しい理解を深め、
支え合いの輪を広げましょう。

高梁市

高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)では、
認知症に関する相談をお受けしています。
☎0866(21)0300

9月21日は



「認知症の日」
世界アルツハイマーデー (9月21日)

あなたの地域で
認知症とともに
いきいきと暮らす

厚生労働省

認知症対策推進課

認知症ケアパスの普及と活用



認知症月間で展示と
持ち帰り用に設置
しました

認知症サポーター養成講座の積極的開催

2. 認知症の正しい知識の普及啓発

○企業に向けての認知症サポーター養成講座受講勧奨

市内金融機関、高梁警察署へ受講依頼

→高梁警察署、郵便局未受講職員受講



○若年層に向けての認知症サポーター養成講座受講勧奨

→高梁小学校、成羽小学校、高梁中学校、

高梁東中学校、高梁高校、城南高校、

吉備国際大学看護学科・作業療法学科にて開催(予定含む)



3. 本人の気持ちや意見を聴くことでニーズ把握でき、本人やその家族が望む生活を継続できる

本人ミーティング(ぽかぽかサロン)開催

第1回: 6月18日(水) 13:30~15:30

参加者: 認知症本人7名、家族4名

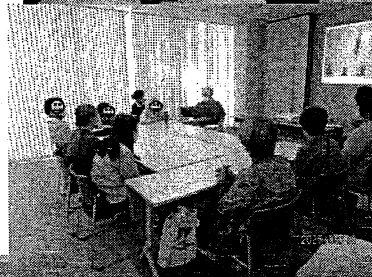
支援者7名

内 容: 本人と家族に分かれて話し合い

簡単なおやつ作り(本人)



第2回: 11月19日(木) 13:30~15:30

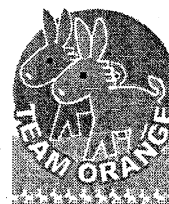


チームオレンジとの連携・活動支援

パネル展示でのチームオレンジの紹介

チームオレンジって、なに? 近所に住む認知症サポーターやオレンジサポーターなどの支援者がチームを組んで、認知症の人やその家族を見守り・声かけし、ともに活動するグループです。	私たちが取り組んでいること 見守りや声かけ、話し相手などを提供して、孤立しないようにサポートしています。 認知症サポーターやオレンジサポーターは、認知症の人やその家族を見守り・声かけし、ともに活動するグループです。	チーム布連の「十」 <活動場所> コミュニティハウス布連会館(備中町布連) <活動内容> 認知症サポーターおよび認知症ステップアップ講座 認知症声かけ体験の協力 地域の情報交換・共有 認知症の方や家族を温かく見守ること
チームオレンジのメンバー	<活動場所> 睦地公会堂(有漢町有漢) <活動内容> 認知症の方の見守り、話し相手、生活支援	<活動場所> かわかみ茶坊 朝家コミュニティハウス(川上町朝家) <活動内容> 認知症の人・家族等の居場所づくり 認知症の人の趣味活動等の支援 認知症の方の見守り、話し相手、生活支援 地域での認知症啓発活動 認知症カフェ、元氣なからだづくり隊参加支援

チームオレンジ研修交流会



(有漢)

チームオレンジ・オレンジサポーターのフォローアップ研修

日 時:10月6日(月)10:00~11:30

内 容:

- ・認知症と香りについての講話(マスカット薬局)
- ・意見交換

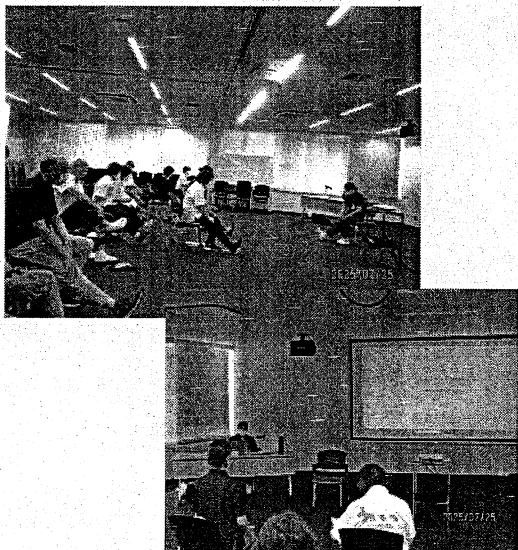


(川上・備中)

チームオレンジ・オレンジサポーターのフォローアップ研修

日 時:12月16日(火)10:00~11:00

認知症カフェ連絡会(7月29日)



家族介護者のつどい(8月18日)



認知症月間パネル展示アンケート集計

回収場所

イズミ	ボルカ	高梁市図書館	成羽病院	高梁中央病院	QRコード
6	17	2	6	5	3

①展示の内容は分かりやすかったですか？

とても思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全く思わない
11	22	2	0	0

②認知症に対する理解は深まりましたか？

とても深まった	深まった	わからない	あまり深まらなかった	全く深まらなかった
8	25	3	0	0

③関心があった展示内容は？

認知症とは	本人の声	オレンジガーデニングプロジェクト	チームオレンジの紹介	もの忘れ安心ガイドブック	認知症カフェ	その他
10	18	9	6	6	9	1

④今回の展示をどこで知りましたか？

広報たかはし	市ホームページ	SNS	チラシ	通りがかり	その他
5	4	0	4	16	4

⑤どのような情報があれば知りたいですか？

チームオレンジの他の活動内容

展示(パネルに写真、本人の言葉)ばかりでなく、何かパフォーマンス的なものを時間を決めてでもあれば、買い物帰りに足を止めて聞くのになて思いました

自分の認知度を測る機会があれば試してみたい

認知症の体験会

認知症は身近です。施設(病院)で働いていますが家族をみるのは大変だと思います。地域から助けられたいと思います。

施設情報

本人の声

高梁市内だけでなく近隣の情報(生活圏)もあれば幅が広がると思います。

どんな事でも

もの忘れがあるのがどうにか治ってきたいです

最近主人を亡くして一人暮らしになりました。同じことを繰り返します。

認知症の親を介護している子供さんの生の声が知りたいです。

⑥年代

10～20代	30～50代	60～70代	80代以上
4	11	19	3

⑦身近に認知症の方がいる？

はい	いいえ
14	22

⑧認知症になっても住み続けたい？

はい	いいえ
33	4

⑨認知症になったら地域の人に支えてもらいたい？

はい	いいえ
31	5

⑩ご意見・ご感想

認知症となった時の家族の負担を考えるとお手伝いがあるか考えていますが、難しいかな。でも、何か方法を見つけて手助けしたいですね

認知症当事者ネットワークみやぎ39歳で発症して現在51歳の代表者で全国で講演活動をしています

本日はご苦労様です。私も総社市でai委員を昨年まで10年間続けました。今77歳になり、他の方に引き継いでもらったものです

認知症は人生の一部だと知れた。認知症になってもこの街に住んでみたいと思えるようなまちづくりや市との連携を図ってほしい

認知症の難しさとその対応の仕方を理解できました

毎回してくださいね

きれいで丁寧なパネル展示、わかりやすかったです

自分の親を他人に任せちゃーおえまーという近所の人もある。実際はよい人ばかりではないし難しい。理解が深まって欲しい。できるだけまわりに迷惑をかけてはいけないと家族は思うしかないように思う。

支え合える優しい地域、一人の方の人生を含めた尊重したふれあいができればいつも思っています

オレンジ色が明るくて目を引きました。ありがとうございます。

誰がなるかわかりませんが、事前努力も頑張ります。

認知症の方を理解して、ちょっとでも手助けになることを推進していきたいと思います。

ヘルプカードについて

本人ミーティングで...

- まだ家に帰る道は忘れてないけど、これを忘れたら困るなあ
- 計算ができません、歩くのが少し遅いです。皆さんに迷惑かけています。
- 一人でバタバタしています。周りが大丈夫と助けてくれます。
- 回覧板が理解できないことがあります。
- 近所に迷惑を掛けるようになって、町内に言ったら気持ちが楽になった。本人も気にせず話ができるようになった。大勢の人に知ってもらえていたらいい。

認知症施策検討委員会での意見から...

- 名称には「認知症＝オレンジ、ロバ隊長」が浸透しつつあるため「オレンジカード」がイメージしやすいのではないかと
- 内容は名前、住所、かかりつけ医、身寄りの連絡先が必要
- 普段持ち歩けるよう免許証サイズがいい
- 一定の年齢になると配布される、QRコードの活用もいい
- 現行のヘルプカードと一緒に入れることができるカード程度のサイズがいい
- 内容をたくさん盛り込むと悪用される可能性も考えられるため、名前や家族・連絡先程度でいい
- 作成後、カードに対する理解・普及啓発や持ち歩いてもらう工夫が必要
- カードを所持することで割引などのメリットが受けられる
- ヘルプカードを使う場面の想定が各々で異なるため、出てくる意見が異なる。認知症本人が使って助けになるものにしていただきたい

ヘルプカードの完成に向けて...



名前:	_____
住所:	高梁市 _____ 町
かかりつけ医:	_____
緊急連絡先:	_____
希望:	_____

カード案を見ていただき、修正点や追加点、利用促進のための活用方法等についてご意見をお願いします。